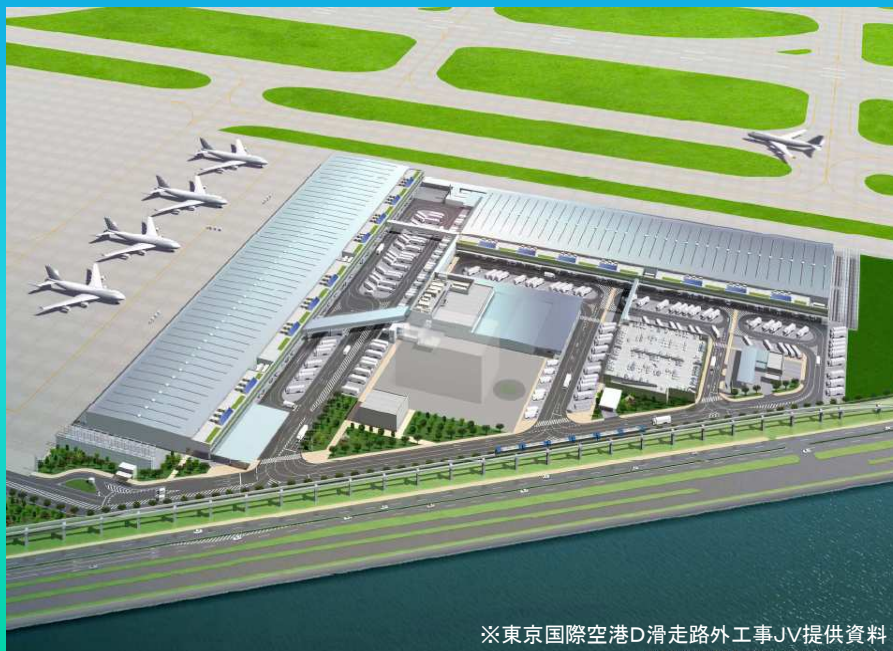
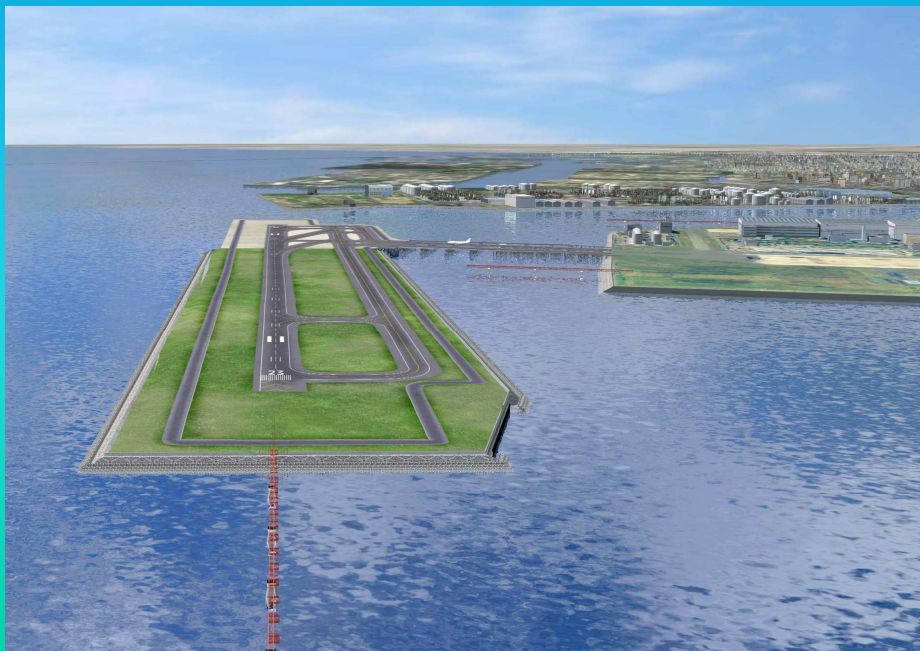
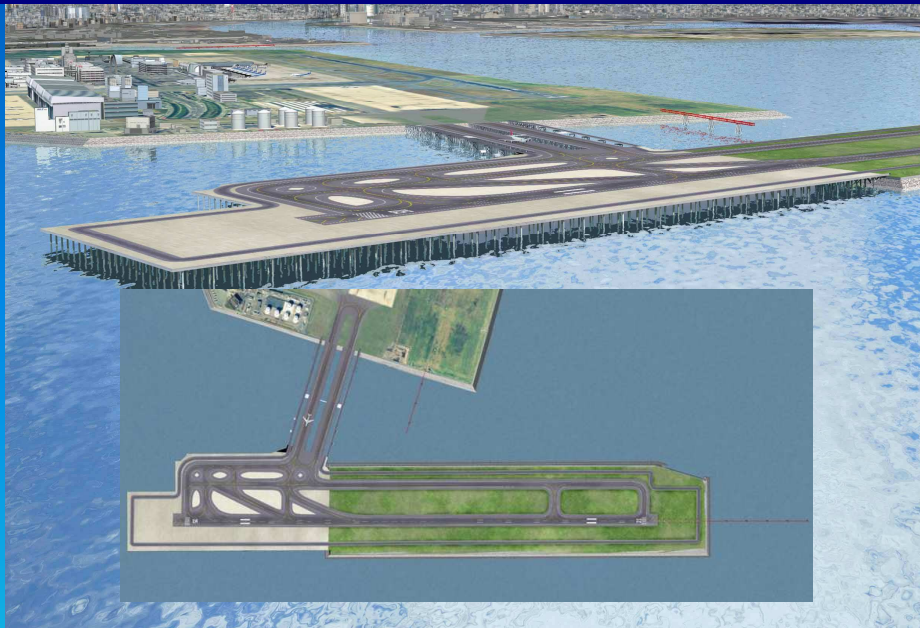


平成20年度の羽田空港整備計画について

平成20年6月30日東京空港整備事務所



※東京国際空港D滑走路外工事JV提供資料

羽田空港事業の構成

新設滑走路(D滑走路)
(2,500m × 60m)

C滑走路
(3,000m × 60m)

B滑走路
(2,500m × 60m)

A滑走路
(3,000m × 60m)

国際線地区整備事業範囲

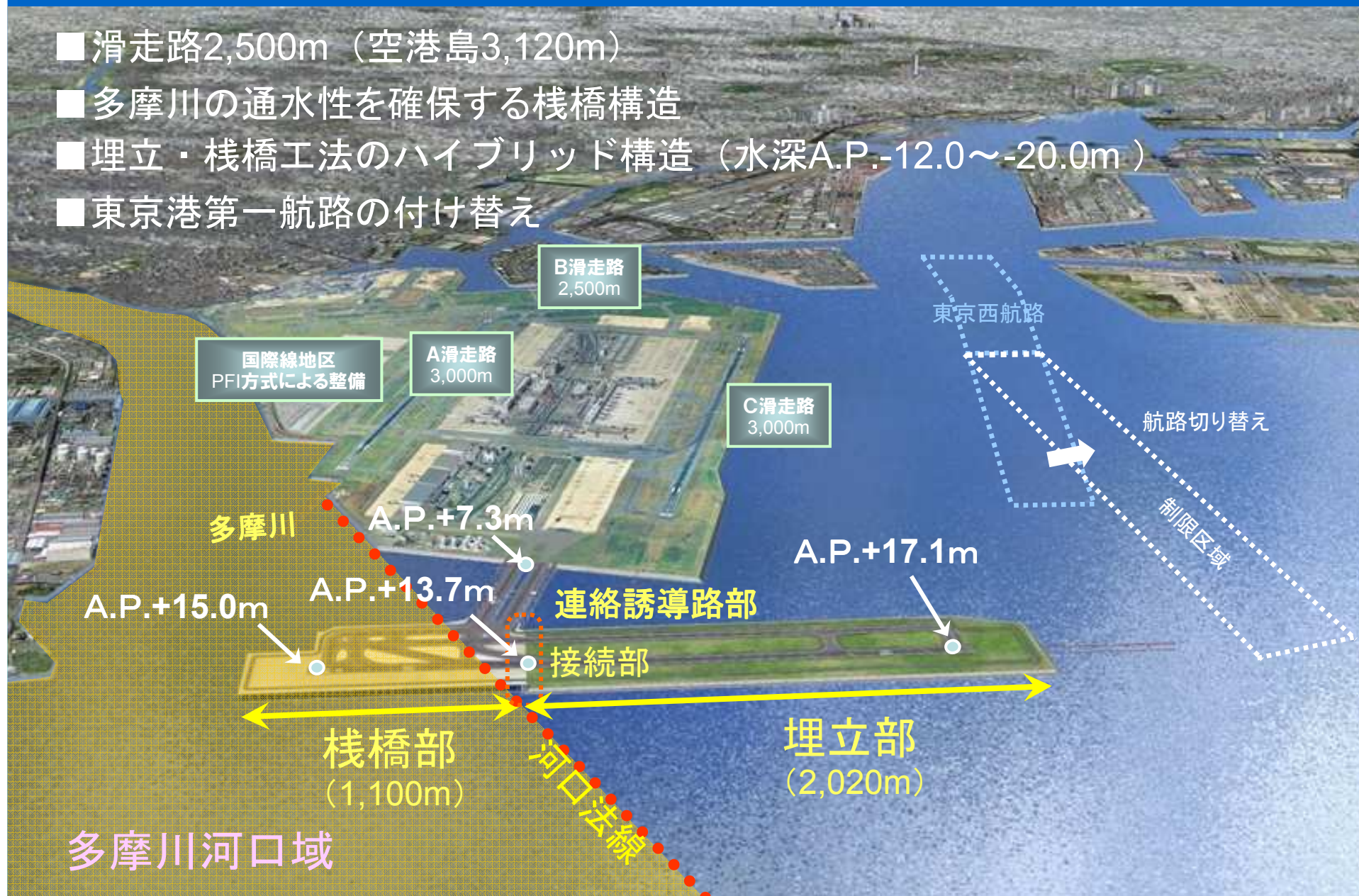
3つの「PFI事業」

- 旅客ターミナルビル等整備・運営事業
- 貨物ターミナル整備・運営事業
- エプロン等整備等事業



D滑走路の概要

- 滑走路2,500m（空港島3,120m）
- 多摩川の通水性を確保する栈橋構造
- 埋立・栈橋工法のハイブリッド構造（水深A.P.-12.0~-20.0m）
- 東京港第一航路の付け替え



埋立部

進捗状況

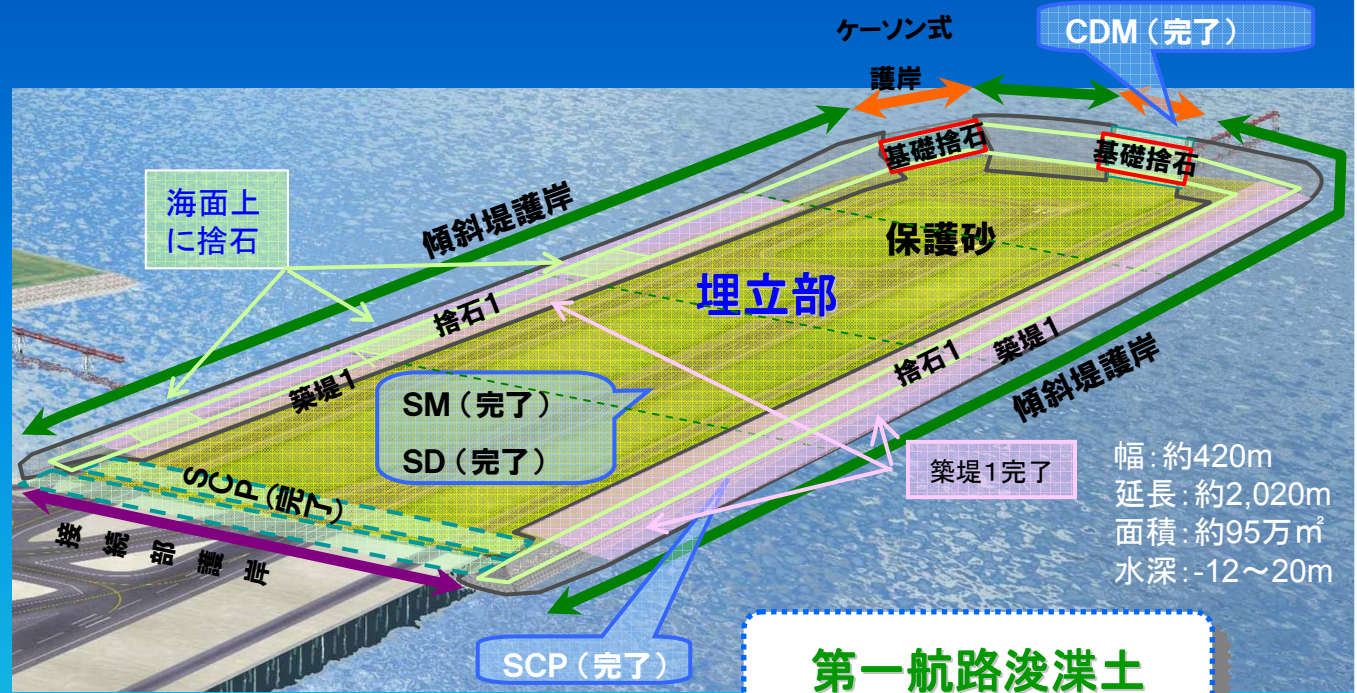
地盤改良: 100%

築堤 1: 88%

保護砂: 81%

捨石 1: 23%

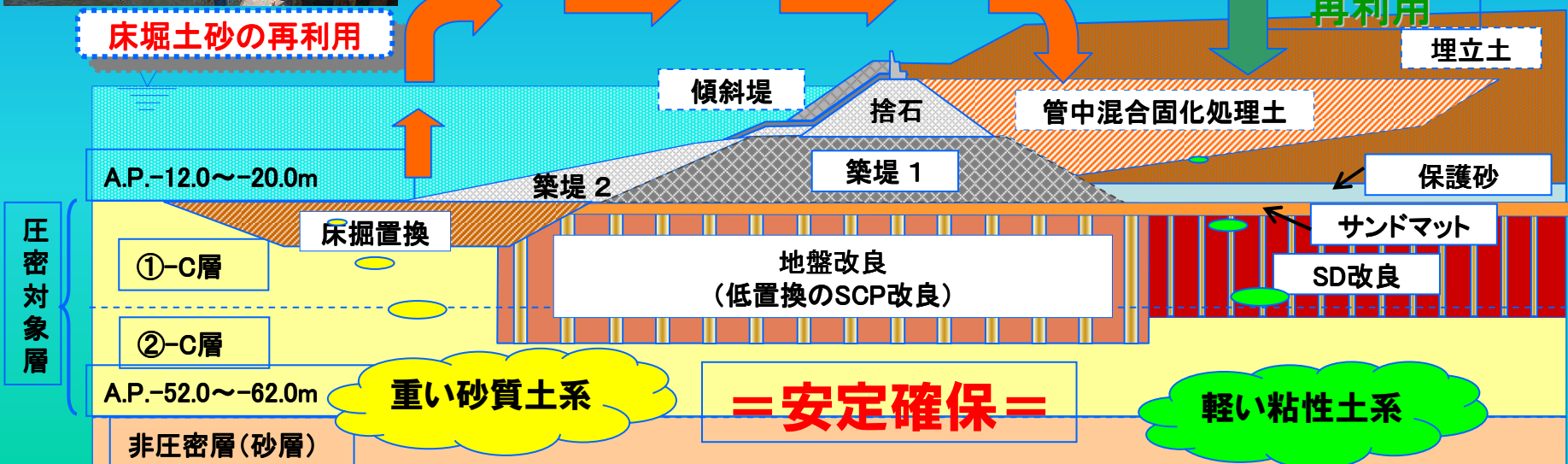
(H20.6.23現在)



幅: 約420m
延長: 約2,020m
面積: 約95万㎡
水深: -12~20m

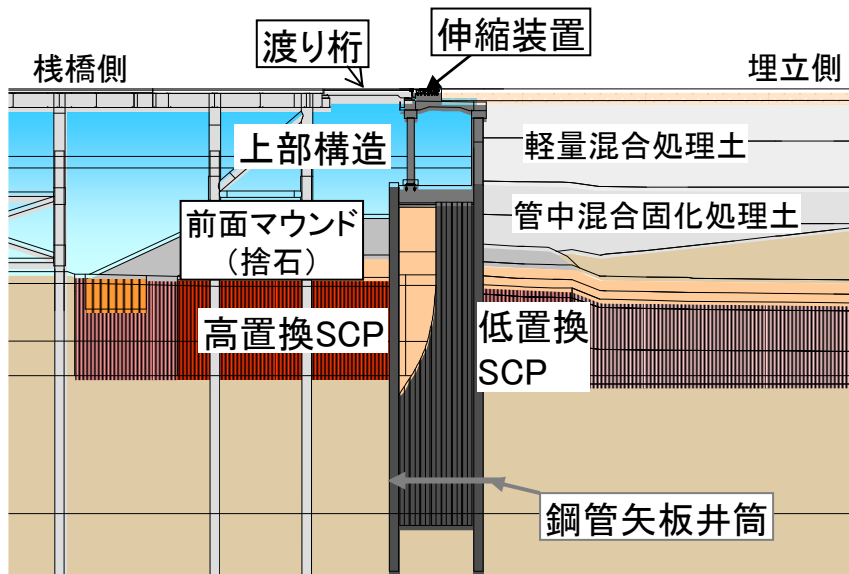
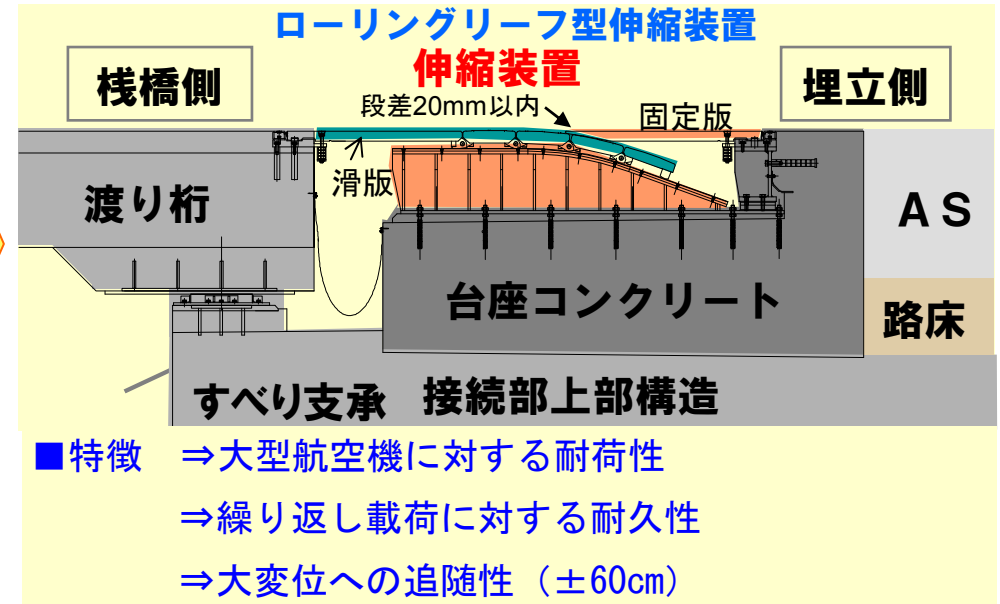
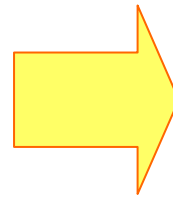
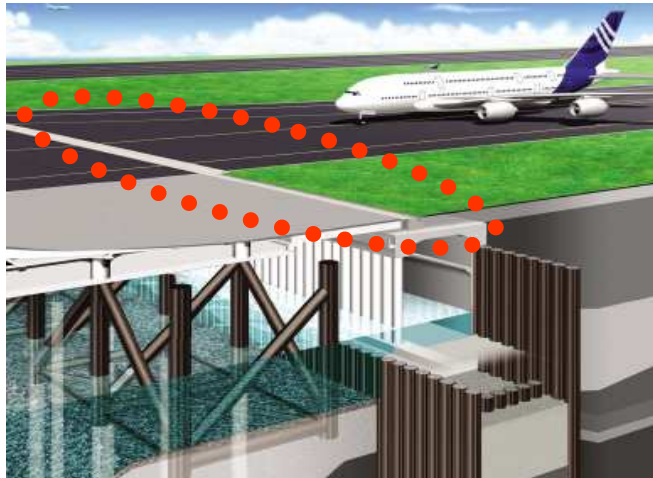
床掘土砂の再利用

再利用

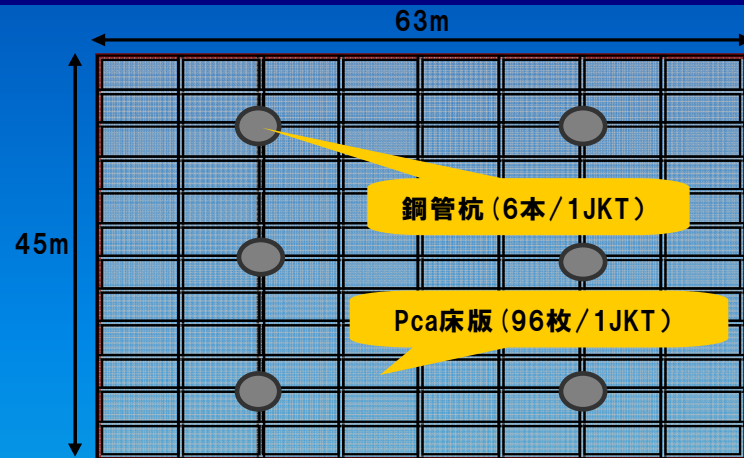


接続部

- ローリングリーフ形式の伸縮措置を設置し、温度変化や地震によって発生する埋立部と棧橋部の相対変位を吸収。
- 実物大の伸縮装置による性能確認試験を実施し、安全性を確認。



棧橋部



棧橋部 標準ジャケット平面図

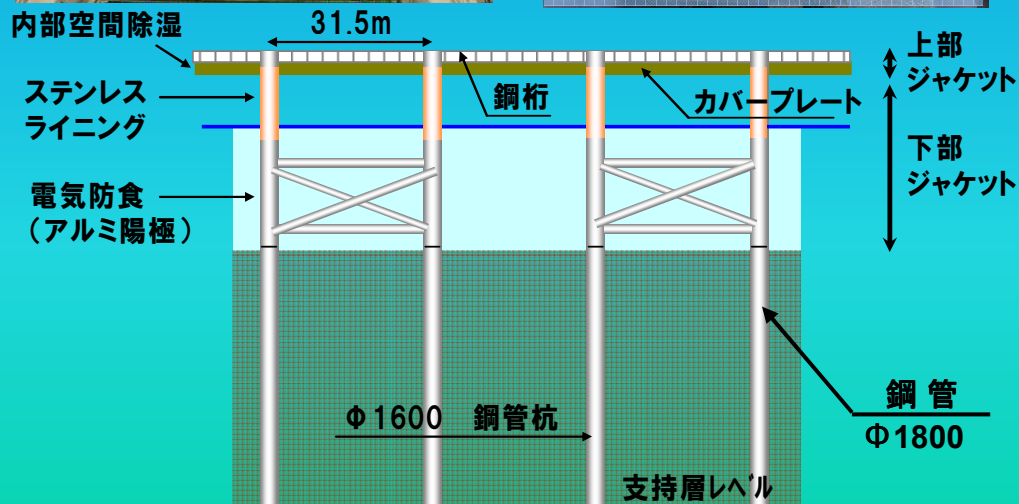
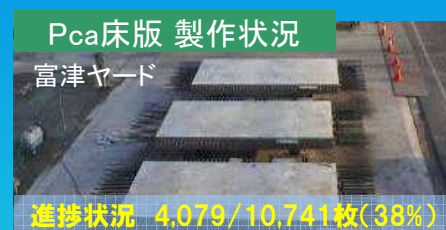


ジャケット基数: 198基

1基あたり重量: 約1,300t

(標準型) (上部800t, 下部500t)

W:63m×L:45m×H:32m



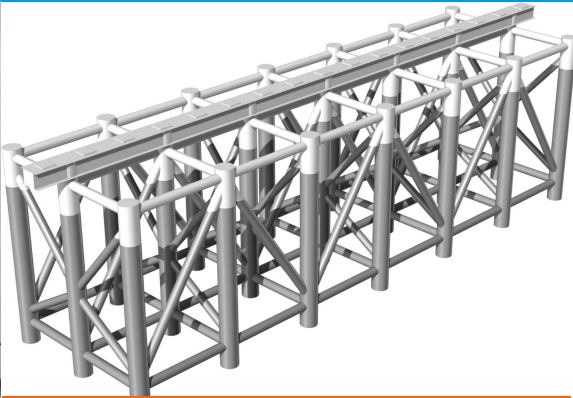
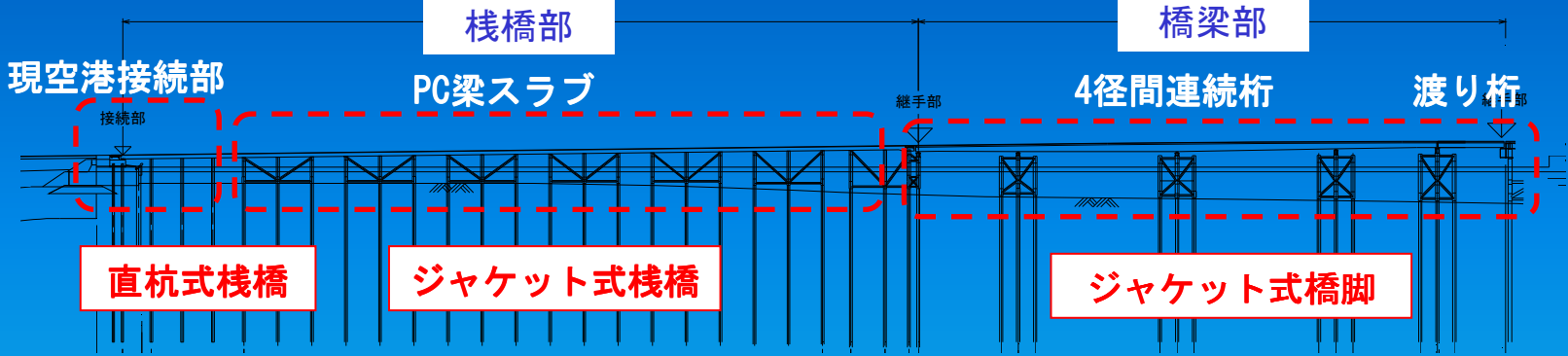
棧橋部 標準ジャケット断面図

連絡誘導路

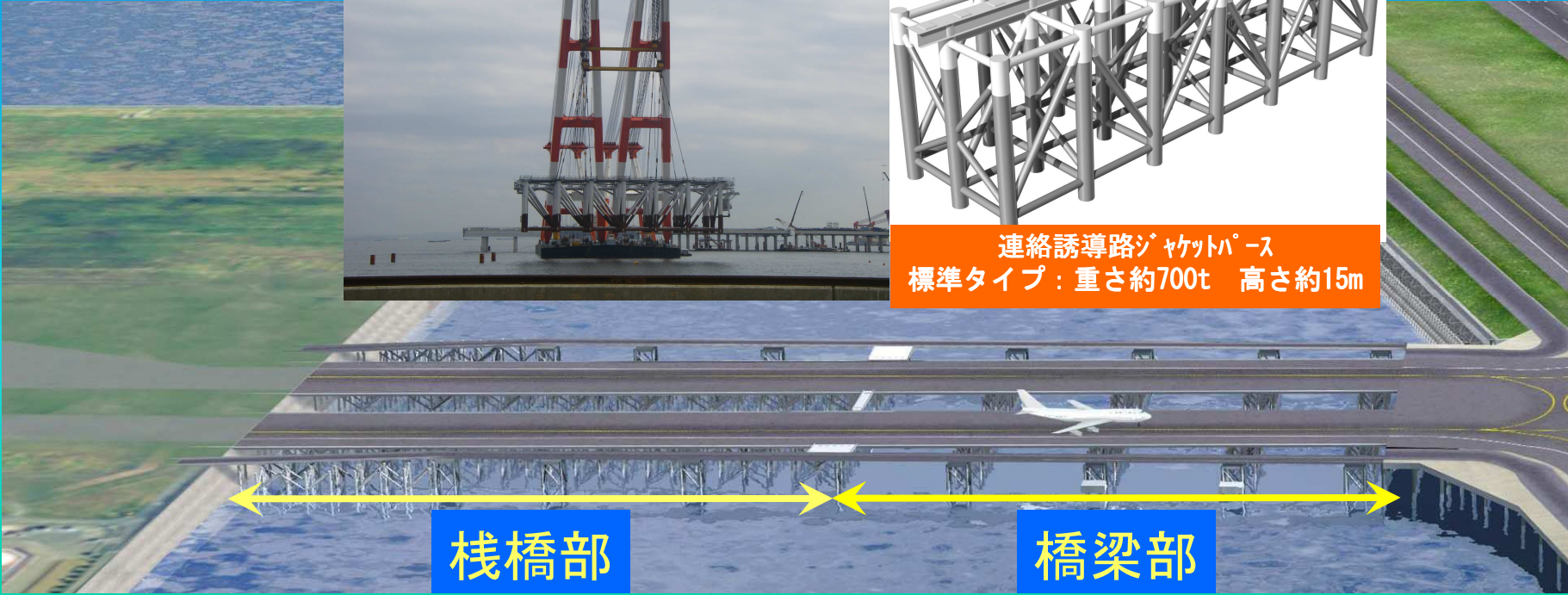
現空港

鋼・コンクリート合成床版

新滑走路島



連絡誘導路ジャケツトパ-ス
標準タイプ：重さ約700t 高さ約15m



栈橋・連絡誘導路部実施状況



棧橋部

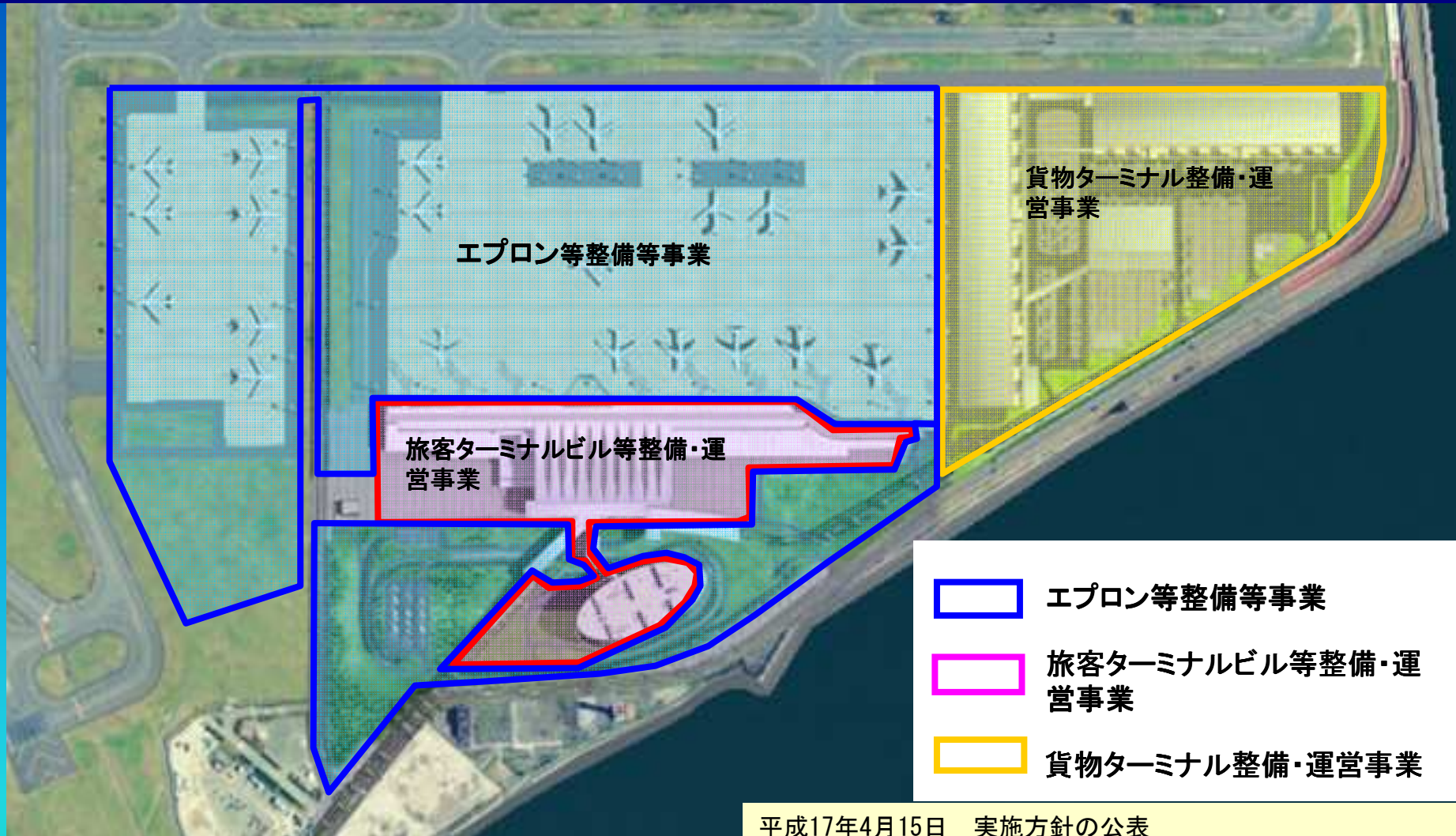


H20.5.7 撮影



H20.5.16 撮影

国際線地区整備事業 PFI手法によるエプロン等の整備



全体面積 約98ha

- エプロン等整備等事業 約 68ha
- 旅客ターミナル等整備事業 約 13ha
- 貨物ターミナル整備事業 約 17ha

平成17年4月15日	実施方針の公表
平成17年6月29日	特定事業の選定
7月29日	事業者の公募（入札公告）
平成18年3月24日	エプロン等事業の事業契約締結
7月 7日	旅客・貨物ターミナル事業の事業契約締結
平成19年3月 1日	エプロン等整備等事業 着工
平成21年9月	エプロン等整備等工事 完成予定

エプロン等整備等事業対象範囲

GSE 橋 梁



イメージパース



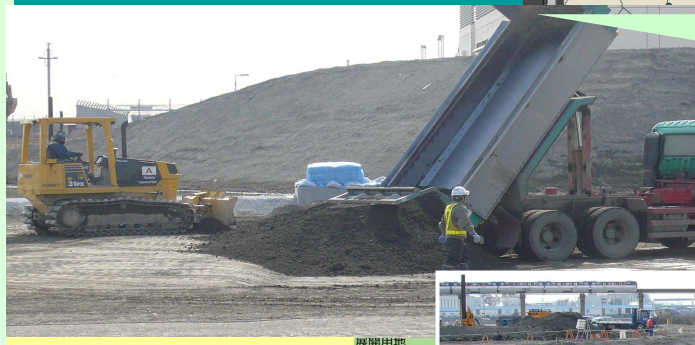
GSE橋梁整備状況



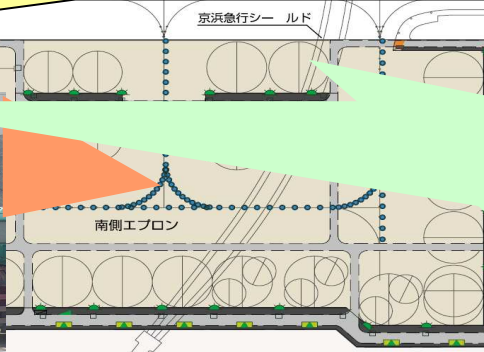
UFC(超高強度繊維補強コンクリート)プレキャスト桁工場製作状況

UFC桁上床版施工状況

エ プ ロ ン



エプロン舗装
(路床盛土状況)



軽量土



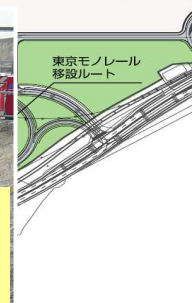
SGM
(Super Geo-Material)



FCB
(Formed Cement Base)



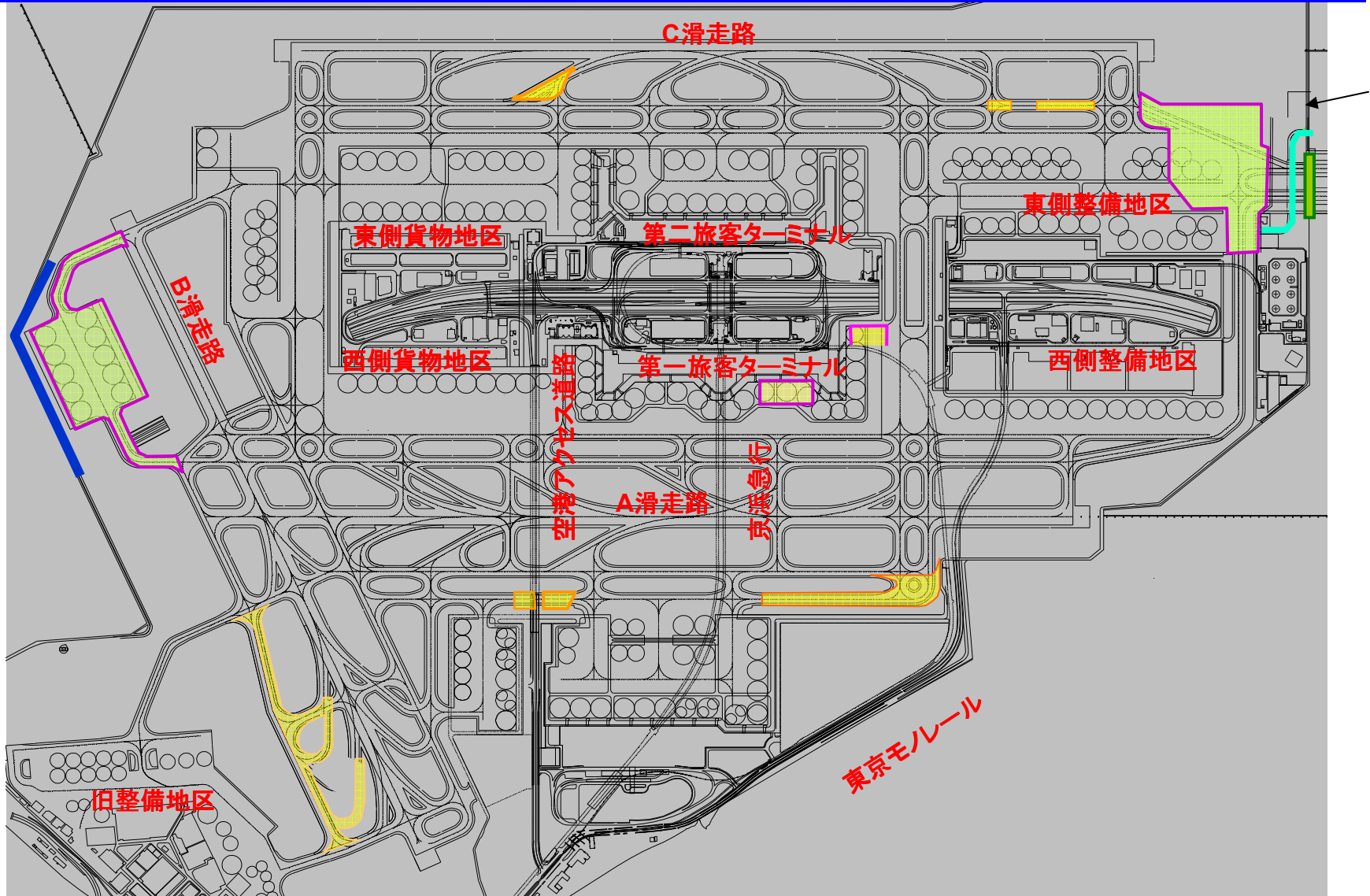
排水工
FRPM管据付け



- 事業者:** 羽田空港国際線エプロンPFI株式会社
- 業務概要:** 基本施設(エプロン・ショルダー・GSE置場、GSE通行帯等)
- 対象施設:** 航空保安施設(航空灯火施設、エプロン監視用ITV、電源施設等)
付帯施設(消防水利施設、排水施設、共同溝及び上下水道施設等)
構内道路・駐車場(バス・タクシー用の駐車場で一般車両の駐車場は別途事業により整備)緑地等

機能向上事業（平成20年度計画図）

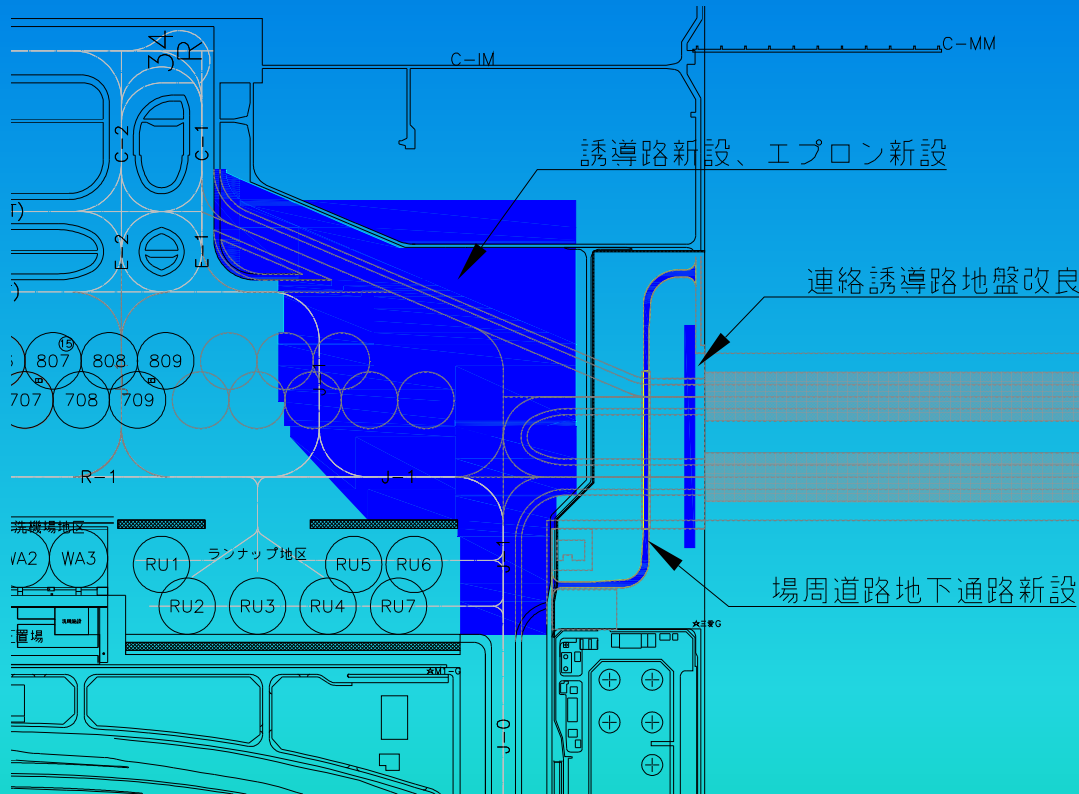
- 空港機能の向上（利便性、安全性、耐震性等）を図る事業。
- D滑走路・国際線地区エプロンの供用に向けた施設整備。



機能向上事業(東側整備地区)

■ D滑走路連絡誘導路との取付

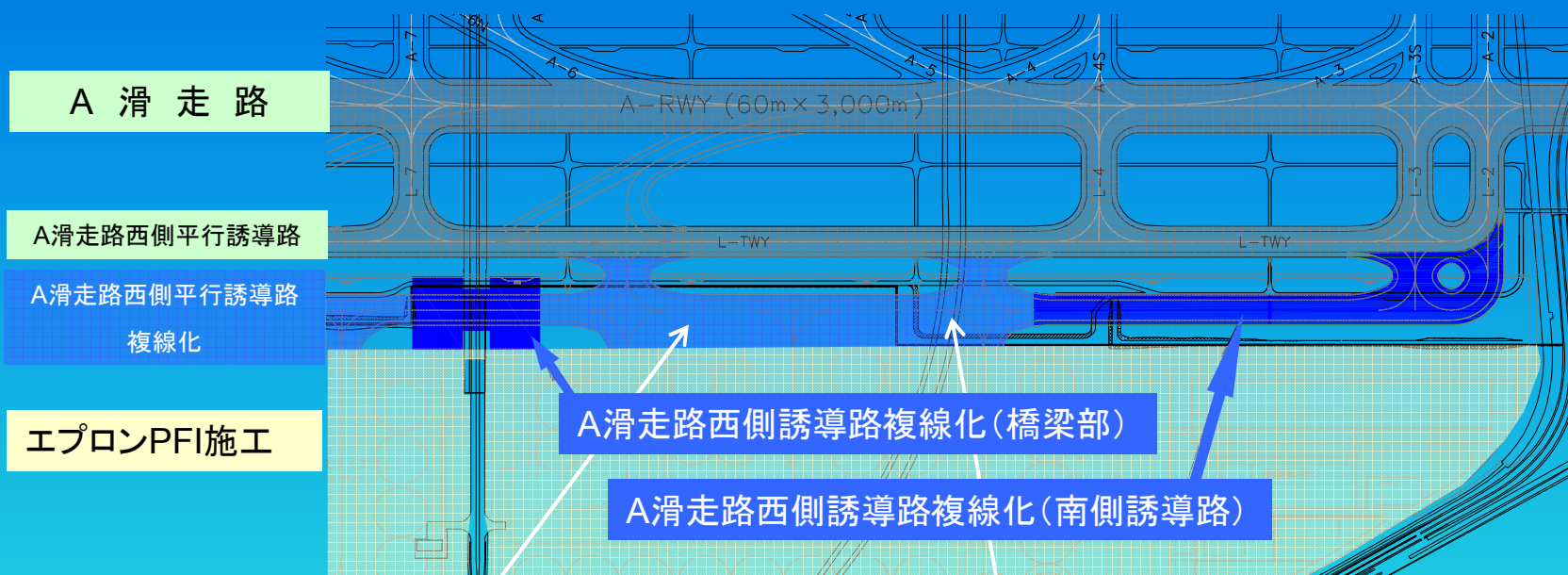
誘導路新設、エプロン新設、場周道路地下通路新設、連絡誘導路地盤改良を実施



機能向上事業(国際線地区)

■国際線地区への動線整備

国際線地区への航空機の円滑な地上走行と定時制確保のため、A滑走路西側平行誘導路の複線化を実施

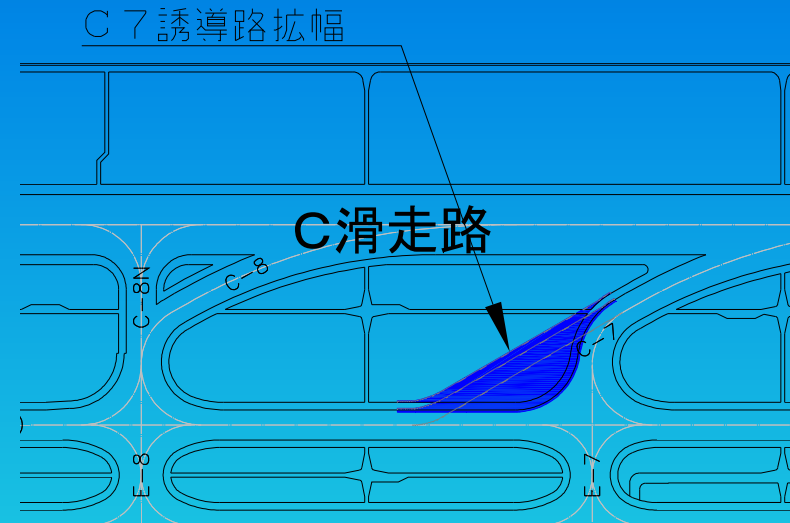
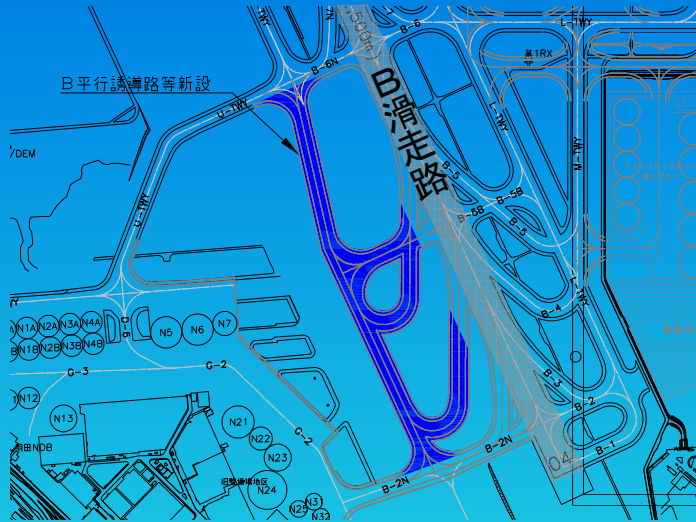


機能向上事業(利便性の向上)

■ 利便性向上のための新施設の整備

B滑走路北側に新たな誘導路の整備、ナイトステイエプロン等の整備

C滑走路の高速脱出誘導路の整備



舗装版撤去



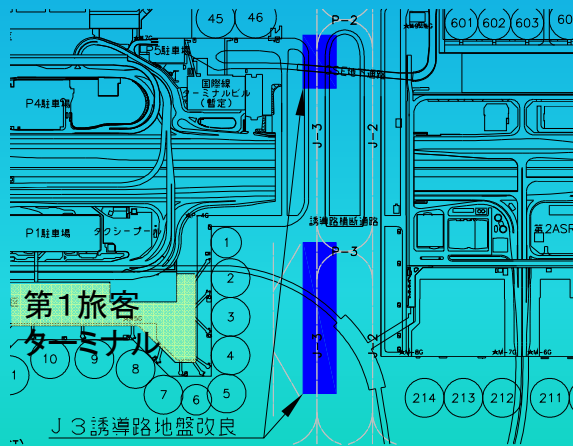
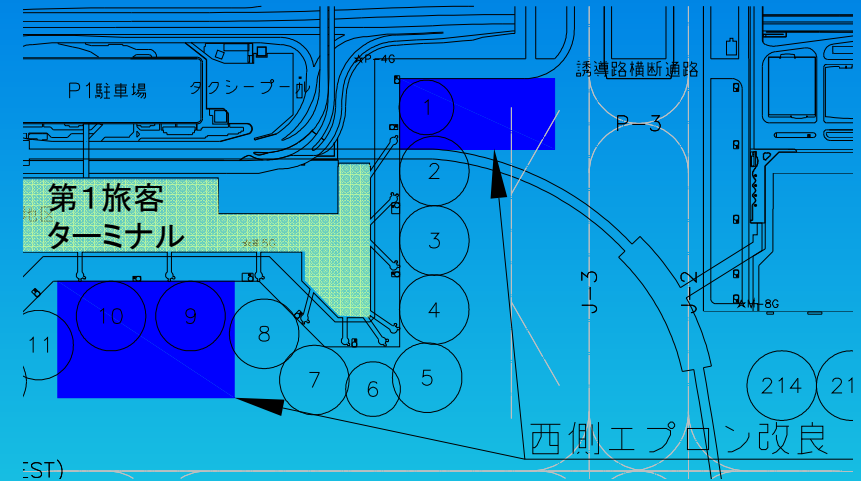
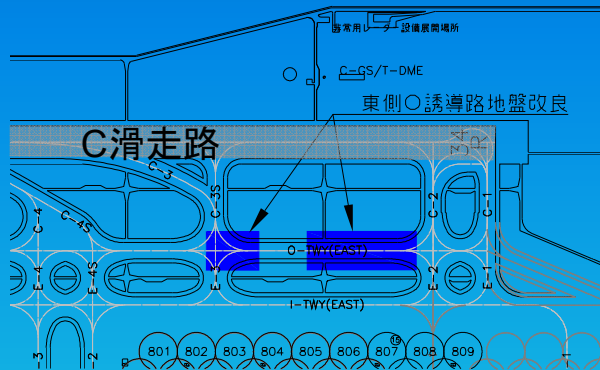
舗装工

機能向上事業(耐震性・安全性の向上)

■耐震性・安全性の向上

震災時でも耐震強化された航空機導線を確保

地盤沈下への対応



地盤改良工(CPG工法)



エプロン改良

展望・展示施設



D滑走路・展望施設(羽田空港南側 三愛石油付近)



D滑走路・展示コーナー(羽田空港第2ターミナル5階)



PFI展示室(羽田空港西側 三愛石油棧橋付近)